

研究開発成果 実装支援プログラム
平成22年度 報告書

実装活動の名称 「医学的機能評価に基づく高齢者の排尿自立支援」

採択年度 平成22年度
実装機関名 東京大学大学院
実装責任者 本間之夫

1. 概要

尿失禁は高齢者の抱える排尿障害の一つである。尿失禁への対処は多くの場合、排尿補助製品（オムツ、パッド等）に依存していると考えられる。尿失禁の原因を追究することなく無秩序に排尿補助製品に依存すれば、介護負担の増加や高齢者の「生活の質＝QOL」の低下を招くだけでなく、本来可能なはずの自立排尿を諦めさせ、高齢者の生活の質を低下させることに繋がると考えられる。本研究では既に研究成果が確認されている「排尿機能評価に基づいた高齢者の排尿管理」を実装し、高齢者の排尿自立・QOL向上と介護負担の軽減を図ることを目的として、平成22年10月から活動を開始している。

2. 実装活動の具体的内容

①実装活動スタートアップミーティング

日時：平成22年11月19日（金曜日）15：00～17：00

場所：東京大学医学図書館310会議室

内容：実装活動担当者23名および特別講師1名が参加して、本実装活動の説明・質疑応答を行った。特別講師には日本コンチネンス協会の安部静枝氏を招聘し、排尿障害の講義（20分間）を行っていただいた。

②倫理審査（新規）

本実装活動を東京大学大学院倫理委員会に新規申請し、承認を得た。

承認日：平成22年11月29日（審査番号 3256）

③倫理審査（軽微な変更）

介護者のQOL評価のための倫理申請を追加し、承認を得た。

承認日：平成22年12月10日（審査番号 3256-（1））

④UMIN-CTR試験情報の登録

UMIN試験ID：UMIN000004939

受付番号：R000005696

登録日：平成23年1月24日

⑤高齢者排尿補助製品使用実態調査及び介護者QOL調査

湖山医療福祉グループの施設（*下記）に入所中の高齢者を対象に排尿補助製品使用実態調査を行った。併せて介護者のQOLについてSF-36質問票を元に調査した。

（*：参加施設）

草加福祉会（クラシックレジデンス東戸塚、フェリス）

日本ライフデザイン（葉山の丘、アーバンリビング稲毛、油壺マリーナヒルズ）

苗場福祉会（特別養護老人ホームさくら館）

カメラア会（特別養護老人ホームカメラア）

湖聖会（キーストーン、純恵の郷）

⑥残尿測定器「ゆりりん」の購入

【平成22年度の実装活動】

老人福祉施設において排尿補助製品の使用状況把握のため、参加施設において

調査を開始した。調査期間は平成 22 年 10 月～平成 22 年 12 月までとし、平成 23 年 1 月に集計する予定であったが、介護職員のマンパワー不足のために調査は完了していない。また、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震により、湖山医療福祉グループの関連施設が被災したことを受けて、グループ全体に物質的、精神的被害が及んでおり、当実装活動の進捗に影響が出ている。

3. 理解普及のための活動とその成果

実装活動の受益者や、受益者の関与者等ステークホルダーを明確化して、記述して下さい。該当しない項目は適宜削除して下さい。

(1) 展示会への出展等

該当なし

(2) 研修会、講習会、観察会、懇談会、シンポジウム等

年月日	名称	場所	概要	ステークホルダー	社会的インパクト
平成22年11月19日	実装活動スタートアップミーティング	東京大学医学図書館310会議室	実装活動内容の説明・質疑応答	東京大学	

(3) 新聞報道、TV放映、ラジオ報道、雑誌掲載等

該当なし

(4) 論文発表（国内誌 0 件、国際誌 0 件）

該当なし

(5) WEBサイトによる情報公開

該当なし

(6) 口頭発表（国際学会発表及び主要な国内学会発表）

該当なし

(7) 特許出願

該当なし

(8) その他特記事項

該当なし